

勇気は機関車

第5号

平成15年 4月 20日

大分への帰郷の際決まって寄っている桃屋甚兵衛という和菓子屋があります。この店出版の文庫第1集を購入したのが平成13年？その第1集は「野尻千穂子」さんという小学校6年の時から胸から下が麻痺した体でありながら、社会人として自立・結婚・出産を経験されきてきな人生を送られており、「命いっぱい生きて」という本でした。

私はこれをやっと2年後に感動して読んだのですが、裏表紙の住所をみてビックリ！熊本市八王寺〇〇・・・なんだ！うちから2~3分のところなのです。私は早速会いに行きました。しかし、すでに引越済。桃屋甚兵衛さんにお尋ねすることに。やっと、住所がわかり日時をアポ数日後出会うの日となりました。



週に2~3回積極的に講演活動をされている野尻さんですが、この日は講演会を独占したようで、恐縮の時間でした。印象に残るのは、このような境遇になったのもきっと神様との約束だと。というか10代の頃、夢に出てきたそうなんです。足が動かなくなってもがんばって生きるかって？どんな生命も与えられているんですよ。

健康は当たり前ではない。生き方に使命感が求められている・・・とってもすがすがしい出会うの日でした。

